

# 2018年度 第3四半期連結決算説明資料

2019年2月6日

**ブラザー工業株式会社**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おさください。

### 第3四半期実績

#### ✓ 売上、利益とも堅調に推移

- ・ IJP/LBPとも、採算性の高いモデルへのシフトが順調に進む
- ・ 日本では、サブタンク搭載のインクジェット複合機「ファーストタンク」モデルの販売が好調に推移し、計画を大幅に上振れ
- ・ 米国で最高級刺しゅうミシンが大ヒットし、業績へ寄与
- ・ 産業機器は、IT・自動車関連とも中国向けが大幅な減少
- ・ ドミノ事業は安定的な成長が持続

### 通期見通し

#### ✓ Q2時点から事業環境認識に大きな変化はないため、業績予想に変更無し

- ・ マシナリー事業の中国減速リスクはQ2時点で織り込み済み
- ・ Q2で事業セグメント利益の下方修正要因となった電子部品等のコストアップリスクはほぼ解消

単位：億円

	17Q3	18Q3	増減	増減率 ( ) は為替影響 除く増減率
売上収益	1,878	<b>1,781</b>	▲ 96 <sup>*</sup>	-5.1% (-2.2%)
事業セグメント利益	224	<b>221</b>	▲ 4	-1.6%
事業セグメント利益率	11.9%	<b>12.4%</b>		
その他の収益・費用	▲ 6	<b>16</b>	22	
営業利益	218	<b>236</b>	18	8.5%
営業利益率	11.6%	<b>13.3%</b>		
税引前利益	221	<b>236</b>	15	6.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	162	<b>180</b>	18	11.1%
USD	112.74	<b>112.83</b>		
EUR	133.09	<b>129.19</b>		

\*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額▲14億円を含む

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

3

2018年度 第3四半期の連結業績です。

売上収益は、  
1,781億円となり、前年からマイナス5.1%、96億円の減収となりました。  
こちらの96億円の中には、IFRS第15号の適用に伴う会計処理の改訂による  
影響額マイナス14億を含んでおります。

事業セグメント利益は、221億円となり、  
前年からマイナス1.6%、4億円の減益となりました。

次に、営業利益は、236億円となり、  
前年からプラス8.5%、18億円の増益となりました。  
為替予約の評価損益が昨年度はマイナス7億だったのが、  
今年度はプラス11億へと改善したことが、主な要因です。

以上により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、11.1%増の  
180億円となりました。

## 2018年度第3四半期 セグメント別概要

brother  
at your side

単位：億円

売上収益	17Q3	18Q3	増減率	為替影響を除く 増減率
<b>全社</b>	<b>1,878</b>	<b>1,781</b>	<b>-5.1%</b>	<b>-2.2%</b>
プリンティング & ソリューションズ	1,106	1,087	-1.7%	1.9%
パーソナル & ホーム	136	141	3.1%	6.0%
マシナリー	306	225	-26.6%	-25.5%
ネットワーク & コンテンツ	131	124	-5.5%	-5.4%
ドミノ	170	178	4.7%	9.1%
その他	27	26	-3.8%	-3.8%

事業セグメント利益	17Q3	18Q3	増減率
<b>全社</b>	<b>224</b>	<b>221</b>	<b>-1.6%</b>
プリンティング & ソリューションズ	156	166	6.4%
パーソナル & ホーム	11	23	106.1%
マシナリー	38	17	-55.5%
ネットワーク & コンテンツ	11	7	-38.3%
ドミノ	7	6	-12.4%
その他	1	2	99.1%
調整額	0	-1	-

営業利益	17Q3	18Q3	増減率
<b>全社</b>	<b>218</b>	<b>236</b>	<b>8.5%</b>
プリンティング & ソリューションズ	150	177	18.0%
パーソナル & ホーム	10	25	150.1%
マシナリー	38	17	-54.7%
ネットワーク & コンテンツ	10	7	-35.6%
ドミノ	9	9	2.0%
その他	1	3	121.3%
調整額	0	-1	-

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

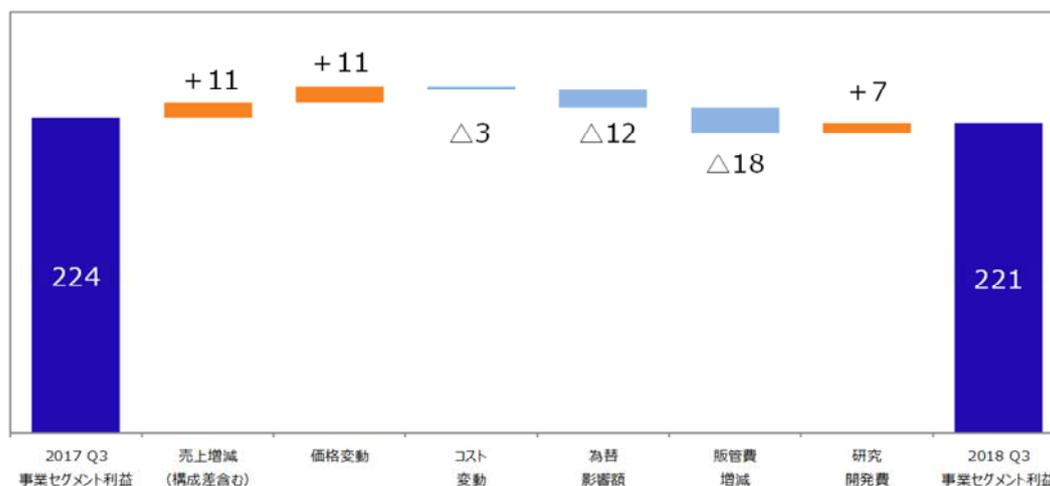
4

セグメントごとのまとめです。ポイントのみ説明させていただきます。

売上収益に関しては、  
P&S事業は実質プラス、マシナリー事業は今回は産業機器の影響で大幅減収、  
ドミノは堅調に増加しております。

利益面での大きな変化としては、プラス方向ではP&H事業、マイナス方向では  
マシナリー事業となります。

単位：億円



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

事業セグメント利益増減要因の主要要素を説明します。

まず売上増減・構成差の プラス11億円ですが、P&S事業、P&H事業、ドミノ事業が それぞれ10億強のプラス、マシナリー事業が20億強のマイナスとなっています。

価格が変動したことによる 利益へのプラス11億円の影響は、ほぼP&S事業におけるものです。

為替影響のマイナス12億円ですが、通貨ごとの内訳は、ユーロがマイナス7億、ドル・ポンドの影響はほとんどなく、その他通貨が マイナス4億となります。

次に販管費が増加したことによる 利益の減少要因の18億円は、P&S事業が半分強、残りはほぼドミノ事業によるものです。

研究開発費が減少したことによる利益の増加要因 7億円は、大半がP&S事業です。

これらにより、第3四半期の事業セグメント利益は 前年比マイナス3億円の221億円となりました。

## 2018年度 連結業績予想

brother  
at your side

単位：億円

	前回予想	FY18 今回予想	増減額	FY17	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	6,900	<b>6,900</b>	-	7,130	▲ 230 *	-3.2% (-1.5%)
事業セグメント利益	690	<b>690</b>	-	772	▲ 82	-10.7%
事業セグメント利益率	10.0%	<b>10.0%</b>		10.8%		
その他の収益・費用	10	<b>10</b>	-	▲ 86	96	
営業利益	700	<b>700</b>	-	687	13	1.9%
営業利益率	10.1%	<b>10.1%</b>		9.6%		
税引前利益	700	<b>700</b>	-	697	3	0.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	520	<b>520</b>	-	500	20	4.0%
USD	109.16	<b>109.16</b>		110.81		
EUR	129.33	<b>129.33</b>		129.45		

\*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額 ▲56億円を含む

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

6

業績予想についてです。

ご覧のとおり、今回は前回から見直しを変更しておりません。  
為替前提も前回通りのままで、変更はございません。

第3四半期の各事業の進捗状況は、利益については堅調に推移しており、第2四半期時点からの事業環境認識に大きな変化はありません。

なお、マシナリーの中国事業の減速リスクは 第2四半期時点で実施した業績予想の見直しに織り込んでおります。

# 2018年度 連結業績予想 セグメント別概要



単位：億円

売上収益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率	為替影響を除く 増減率
<b>全社</b>	<b>6,900</b>	<b>6,900</b>	-	<b>7,130</b>	<b>-3.2%</b>	<b>-1.5%</b>
プリンティング & ソリューションズ	4,012	4,012	-	4,122	-2.7%	-0.3%
パーソナル & ホーム	463	463	-	445	4.1%	7.2%
マシナリー	1,090	1,090	-	1,273	-14.4%	-14.0%
ネットワーク & コンテンツ	487	487	-	491	-0.7%	-0.7%
ドミノ	714	714	-	684	4.4%	5.4%
その他	134	134	-	116	15.3%	15.3%

事業セグメント利益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率
<b>全社</b>	<b>690</b>	<b>690</b>	-	<b>772</b>	<b>-10.7%</b>
プリンティング & ソリューションズ	485	485	-	529	-8.3%
パーソナル & ホーム	37	37	-	20	86.8%
マシナリー	100	100	-	144	-30.7%
ネットワーク & コンテンツ	24	24	-	27	-9.9%
ドミノ	40	40	-	46	-13.8%
その他	4	4	-	7	-45.7%
調整額	-	-	-	-1	-

営業利益	前回予想	FY18 今回予想	増減率	FY17	対前年 増減率
<b>全社</b>	<b>700</b>	<b>700</b>	-	<b>687</b>	<b>1.9%</b>
プリンティング & ソリューションズ	493	493	-	474	4.1%
パーソナル & ホーム	37	37	-	11	252.0%
マシナリー	103	103	-	141	-27.1%
ネットワーク & コンテンツ	21	21	-	13	56.4%
ドミノ	40	40	-	40	0.0%
その他	6	6	-	9	-33.4%
調整額	-	-	-	-1	-

## 参考データ：

# 2018年度第3四半期（累計） 連結業績



単位：億円

	17Q3 累計	18Q3 累計	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	5,342	<b>5,218</b>	▲ 123 *	-2.3% (-0.6%)
事業セグメント利益	615	<b>604</b>	▲ 11	-1.8%
事業セグメント利益率	11.5%	<b>11.6%</b>		
その他の収益・費用	▲ 84	<b>13</b>	97	
営業利益	531	<b>617</b>	86	16.1%
営業利益率	9.9%	<b>11.8%</b>		
税引前利益	537	<b>620</b>	83	15.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	388	<b>465</b>	77	19.7%
USD	111.82	<b>110.82</b>		
EUR	128.59	<b>129.38</b>		

\*IFRS第15号の適用に伴う収益認識に関する会計処理の改訂による影響額▲37億円を含む

# 2018年度第3四半期（累計） セグメント別概要



単位：億円

売上収益	17年度Q3累計	18年度Q3累計	増減率	為替影響を除く 増減率
<b>全社</b>	<b>5,342</b>	<b>5,218</b>	<b>-2.3%</b>	<b>-0.6%</b>
プリンティング & ソリューションズ	3,099	3,073	-0.8%	1.5%
パーソナル & ホーム	344	355	3.2%	5.5%
マシナリー	941	818	-13.1%	-12.8%
ネットワーク & コンテンツ	371	357	-3.8%	-4.0%
ドミノ	501	526	5.0%	6.4%
その他	87	90	3.1%	3.1%

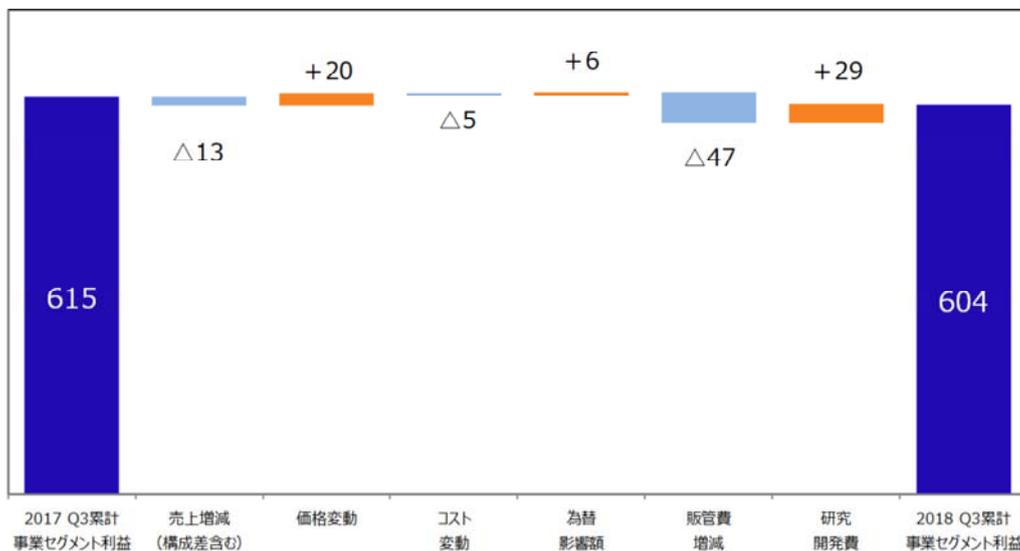
事業セグメント利益	17年度Q3累計	18年度Q3累計	増減率
<b>全社</b>	<b>615</b>	<b>604</b>	<b>-1.8%</b>
プリンティング & ソリューションズ	425	434	2.0%
パーソナル & ホーム	16	34	114.1%
マシナリー	114	88	-23.2%
ネットワーク & コンテンツ	21	13	-40.7%
ドミノ	33	31	-5.1%
その他	7	7	-4.0%
調整額	-1	-1	-

営業利益	17年度Q3累計	18年度Q3累計	増減率
<b>全社</b>	<b>531</b>	<b>617</b>	<b>16.1%</b>
プリンティング & ソリューションズ	353	439	24.3%
パーソナル & ホーム	10	34	250.2%
マシナリー	112	90	-20.3%
ネットワーク & コンテンツ	20	12	-38.9%
ドミノ	28	34	20.0%
その他	8	9	10.2%
調整額	-1	-1	-

# 事業セグメント利益増減要因 <18Q3累計実績>



単位：億円



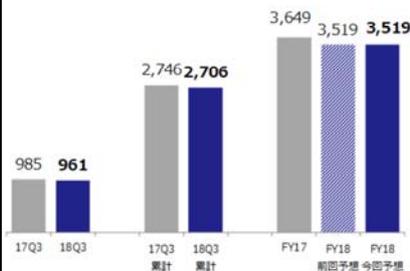
# プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



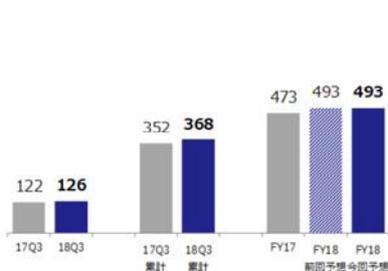
単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	為替影響 除く増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,106	1,087	-1.7%	1.9%	3,099	3,073	-0.8%	1.5%	4,122	4,012	4,012	-2.7%	-0.3%
通信・プリンティング機器	985	961	-2.4%	1.2%	2,746	2,706	-1.5%	0.9%	3,649	3,519	3,519	-3.6%	-1.3%
米州	342	339	-0.8%	1.9%	1,007	985	-2.2%	0.8%	1,335	1,276	1,276	-4.4%	-0.7%
欧州	334	334	0.2%	5.3%	873	882	1.0%	3.1%	1,192	1,164	1,164	-2.4%	-1.4%
アジア他	161	158	-2.1%	3.1%	476	490	2.9%	6.1%	616	630	630	2.3%	5.9%
日本*	148	130	-12.0%	-11.6%	390	349	-10.6%	-10.3%	505	448	448	-11.2%	-11.2%
*日本の売上収益の減少は、OEMの減少によるものです。													
電子文具	122	126	3.6%	6.9%	352	368	4.5%	6.7%	473	493	493	4.3%	6.7%
米州	53	54	3.1%	4.9%	160	171	6.3%	8.3%	212	220	220	3.9%	7.5%
欧州	39	40	4.4%	10.0%	106	105	-0.4%	1.9%	146	148	148	1.0%	1.9%
アジア他	21	20	-2.1%	2.3%	59	62	5.2%	7.6%	76	78	78	2.9%	5.9%
日本	9	11	15.5%	16.0%	27	30	11.6%	12.1%	39	47	47	21.7%	21.7%
事業セグメント利益	156	166	6.4%	-	425	434	2.0%	-	529	485	485	-8.3%	-
営業利益	150	177	18.0%	-	353	439	24.3%	-	474	493	493	4.1%	-

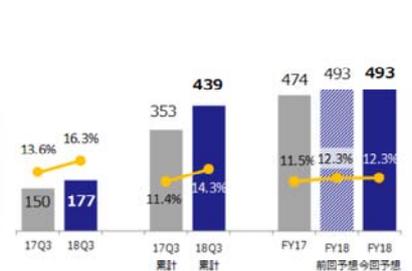
<売上収益> 通信・プリンティング機器



<売上収益> 電子文具



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

P&S事業です。

第3四半期の前年との比較ですが、P&S事業の第3四半期の売上収益は1,087億円で、現地通貨ベースでは、対前年でプラス1.9%で、微増となりました。

通信・プリンティング機器の売上収益は961億円で、現地通貨ベースでは対前年でプラス1.2%で、微増となりました。

モノクロレーザープリンターは、OEM案件の減少により、前年に比べ全体での売上は減少したもののOEMを含まないブラザーブランドベースでは、主にSOHO市場向けのモノクロレーザー製品がグローバルで堅調に推移しました。なお、第3四半期における日本の売上収益が、対前年でマイナス12%となっていますが、これはOEMの減少によるものです。

インクジェットでは、第1四半期より新モデルを投入した「新興国向け大容量タンクモデル」も計画を上回るペースで進捗しています。

また、第2四半期より先進国向けに投入した「サブタンク付きの大容量カートリッジモデル」(は、国内で「ファーストタンクモデル」として、好調に推移し、計画を大きく上振れています。

消耗品についても、前年比ではほぼ伸びはないものの、堅調に推移しております。エンジンごとの伸び率の内訳は、13ページに記載しておりますのでご覧ください。

電子文具の売上収益は126億円で、現地通貨ベースでは対前年で6.9%の増収となりました。ピータッチの本体・消耗品の販売が、欧米を中心にグローバルで堅調に推移したほか、モバイルプリンターを中心とするソリューション事業も、米国、日本で堅調でした。

利益については、事業セグメント利益は166億円、伸び率では6.4%の増益となりました。また営業利益については177億円、伸び率では18.0%の増益となりました。

# プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

brother  
at your side

	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	17通期	18通期
<b>LBP</b>									
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>									
本体	13%	24%	23%	11%	1%	-3%	-5%	17%	-7%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	1%	1%	-1%	3%	-2%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>									
本体	12%	15%	15%	10%	0%	-1%	-2%	13%	-4%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	0%	2%	1%	-2%	0%
<b>IJP</b>									
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>									
本体	3%	15%	3%	-1%	-6%	-6%	2%	4%	-2%
消耗品	4%	3%	13%	3%	1%	-1%	-3%	6%	-5%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>									
本体	3%	6%	-3%	-2%	-6%	-4%	3%	1%	1%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	0%	-1%	1%	-4%
<b>消耗品比率</b>	57%	57%	56%	58%	58%*	58%*	57%	57%	58%
<b>販売台数伸び率 (実績のみ/前年比)</b>									
LBP	13%	9%	10%	3%	-1%	-8%	-7%	9%	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-1%	-2%	-1%	-5%	-

\*18Q1および18Q2の消耗品比率を以下のように訂正しております。  
18Q1 57% → 58%  
18Q2 56% → 58%

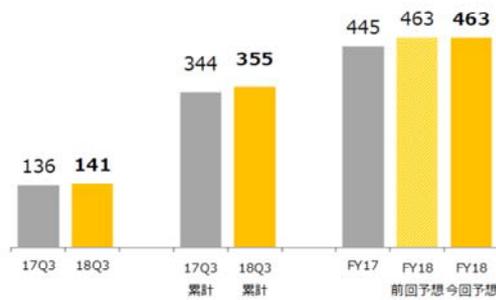
# パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益



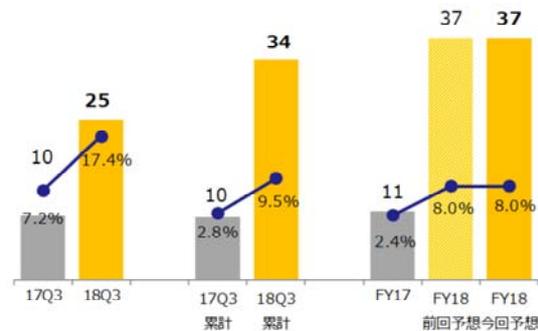
単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	為替影響 除く増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	136	141	3.1%	6.0%	344	355	3.2%	5.5%	445	463	463	4.1%	7.2%
米州	74	81	10.3%	12.9%	190	206	8.0%	11.3%	240	264	264	9.6%	14.1%
欧州	37	37	0.8%	4.0%	87	87	0.2%	0.5%	113	111	111	-1.5%	-0.8%
アジア他	17	15	-12.4%	-8.0%	42	39	-7.3%	-4.4%	55	51	51	-7.2%	-3.7%
日本	9	8	-16.8%	-16.6%	24	23	-5.1%	-4.8%	36	37	37	2.3%	2.3%
事業セグメント利益	11	23	106.1%	-	16	34	114.1%	-	20	37	37	86.8%	-
営業利益	10	25	150.1%	-	10	34	250.2%	-	11	37	37	252.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

P&H事業です。

第3四半期の売上収益は141億円、現地通貨ベースの伸び率では、6.0%の増収となりました。

米国で8月より発売を開始した 最高級刺繍ミシンが大ヒットし、地域別では、米州が、現地通貨ベースの伸び率で、プラス12.9%となっています。

利益面でも、最高級刺繍ミシンの効果もあり、事業セグメント利益は前年の約2倍となる23億円、営業利益は前年の約2.5倍となる25億円と大幅な増益となりました。

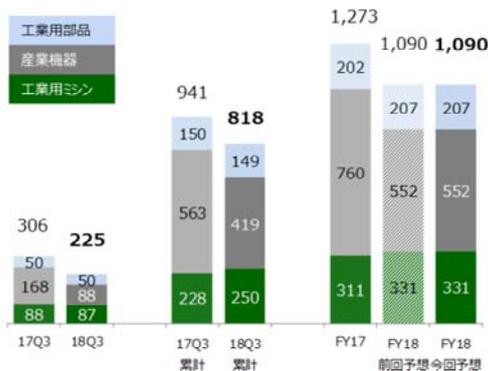
# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

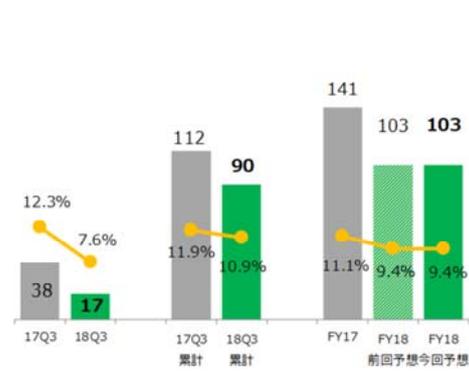
単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	為替影響 除く増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	306	225	-26.6%	-25.5%	941	818	-13.1%	-12.8%	1,273	1,090	1,090	-14.4%	-14.0%
工業用マシン	88	87	-1.1%	0.6%	228	250	9.4%	9.9%	311	331	331	6.5%	8.0%
産業機器	168	88	-47.8%	-47.2%	563	419	-25.5%	-25.7%	760	552	552	-27.4%	-27.4%
工業用部品	50	50	-0.9%	0.9%	150	149	-0.5%	1.1%	202	207	207	2.5%	2.9%
事業セグメント利益	38	17	-55.5%	-	114	88	-23.2%	-	144	100	100	-30.7%	-
営業利益	38	17	-54.7%	-	112	90	-20.3%	-	141	103	103	-27.1%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

15

マシナリー事業です。

第3四半期の売上収益は、マシナリー事業全体で225億。  
現地通貨ベースの対前年で マイナス25.5%の減収となりました。  
ほぼすべてが、産業機器での需要減による影響です。

売上収益の内訳は、工業用マシンが87億円、産業機器が88億円、  
工業用部品が50億円となりました。

工業用マシンは、中国での堅調が続いていることに加え、  
「ガーメントプリンター」も 欧米を中心に堅調に推移しており、業績に貢献しております。

産業機器は、自動車・一般機械関連は、国内向けは堅調に推移したものの、  
中国での需要が低迷しました。加えてIT関連の需要がなくなったことにより、  
大幅な減収となりました。

工業用部品は、減速機が物流向け中心に堅調に推移しました。

事業セグメント利益は、産業機器の減収の影響が大きく、  
事業全体で17億、対前年では マイナス55.5%の大幅な減益となりました。  
営業利益は、17億、対前年では マイナス54.7%の減益となりました。

マシナリー事業の地域別の状況は16ページをご覧ください。

# マシナリー事業 地域別売上収益

brother  
at your side

単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	為替影響 除く増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>306</b>	<b>225</b>	-26.6%	-25.5%	<b>941</b>	<b>818</b>	-13.1%	-12.8%	<b>1,273</b>	<b>1,090</b>	<b>1,090</b>	-14.4%	-14.0%
<b>工業用マシン</b>	<b>88</b>	<b>87</b>	-1.1%	0.6%	<b>228</b>	<b>250</b>	9.4%	9.9%	<b>311</b>	<b>331</b>	<b>331</b>	6.5%	8.0%
米州	20	20	-0.9%	-0.3%	48	52	8.3%	9.5%	64	67	67	5.4%	8.1%
欧州	17	16	-6.8%	-4.1%	45	54	19.1%	17.9%	63	71	71	12.9%	13.0%
アジア他	49	49	0.6%	2.5%	130	137	5.7%	6.6%	178	188	188	5.4%	7.2%
日本	2	2	6.6%	6.6%	5	6	27.1%	27.1%	7	6	6	-16.4%	-16.4%
<b>産業機器</b>	<b>168</b>	<b>88</b>	-47.8%	-47.2%	<b>563</b>	<b>419</b>	-25.5%	-25.7%	<b>760</b>	<b>552</b>	<b>552</b>	-27.4%	-27.4%
米州	9	7	-15.7%	-	23	28	22.8%	-	33	34	34	5.7%	-
欧州	6	5	-17.5%	-	20	24	19.3%	-	30	30	30	1.5%	-
アジア他	126	46	-63.4%	-	456	280	-38.7%	-	608	361	361	-40.6%	-
日本	28	29	7.0%	-	64	88	37.0%	-	89	126	126	41.2%	-
<b>工業用部品</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	-0.9%	0.9%	<b>150</b>	<b>149</b>	-0.5%	1.1%	<b>202</b>	<b>207</b>	<b>207</b>	2.5%	2.9%
米州	6	6	7.9%	7.8%	19	18	-1.0%	-0.4%	25	26	26	3.8%	5.6%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	5	8.2%	11.3%	15	17	13.3%	13.1%	20	23	23	11.2%	12.8%
日本	40	38	-3.3%	-1.5%	116	113	-2.2%	-0.3%	157	159	159	1.2%	1.2%

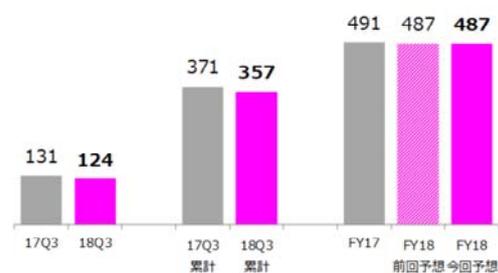
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率
売上収益	131	124	-5.5%	371	357	-3.8%	491	487	487	-0.7%
事業セグメント利益	11	7	-38.3%	21	13	-40.7%	27	24	24	-9.9%
営業利益	10	7	-35.6%	20	12	-38.9%	13	21	21	56.4%

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

17

ネットワーク・アンド・コンテンツ事業です。

第3四半期の売上収益は、124億円、前年比マイナス5.5%の減収となりました。

昨年発売した新モデル「JOYSOUND MAX2」の需要が一巡したことに加え、売買取引が中心であった昨年度と比較して、今年度はレンタルでの取引が増加していることもあり、減収となりました。

事業セグメント利益は7億円、  
対前年では マイナス38.3%の減益となっています。  
営業利益は7億円、  
対前年では マイナス35.6%の減益となっております。

# ドミノ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

単位：億円

	17Q3	18Q3	増減率	為替影響 除く増減率	17Q3 累計	18Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY17	FY18 前回予想	FY18 今回予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	170	178	4.7%	9.1%	501	526	5.0%	6.4%	684	714	714	4.4%	5.4%
米州	39	42	8.2%	13.0%	121	118	-2.5%	-2.1%	159	165	165	3.9%	5.0%
欧州	85	92	8.0%	12.7%	240	263	9.7%	10.3%	337	345	345	2.3%	3.7%
アジア他	47	45	-4.3%	-0.1%	140	145	3.5%	3.9%	187	204	204	8.6%	10.0%
事業セグメント利益	7	6	-12.4%	-	33	31	-5.1%	-	46	40	40	-13.8%	-
営業利益	9	9	2.0%	-	28	34	20.0%	-	40	40	40	0.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

18

ドミノ事業です。

売上収益は178億円となり、ポンドベースの伸び率では前年比プラス9.1%の増収となりました。

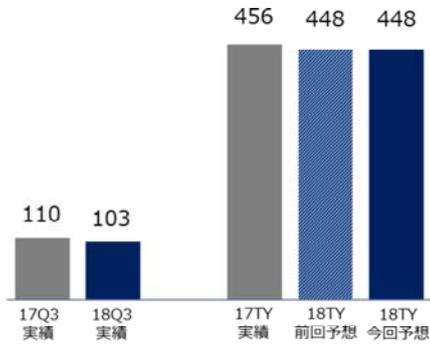
地域別では、米州・欧州を中心にグローバルで堅調に推移し、増収となっています。

利益については、事業セグメント利益が6億円、前年比1億円の減益となっていますが、これは、販管費、および開発費の増加などによるものです。

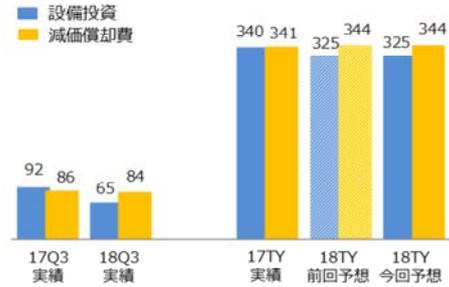
なお対前年では減益ではありますが、社内計画に対しては概ね想定どおりの水準です。

営業利益は9億円、ほぼ前年並みとなりました。

研究開発費  
(億円)



設備投資・減価償却費  
(億円)



棚卸資産  
(億円)



**brother**  
at your side